

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 5 月 25 日現在

機関番号：12301

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25370268

研究課題名(和文) ウェブアーカイブを利用したシェイクスピア上演研究・教育の推進

研究課題名(英文) Promoting Shakespeare Performance Studies and Theatre Education with the Web Archive

研究代表者

末松 美知子 (SUEMATSU, Michiko)

群馬大学・社会情報学部・教授

研究者番号：90216276

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：2007年より、デジタル化の進展を生かした比較演劇の研究手法確立を目指して「アジアにおけるシェイクスピア上演ウェブ・アーカイブA|S|I|A(Asian Shakespeare Intercultural Archive)」の構築を開始したが、本研究では、上演作品分析データの見直しと使用言語の追加(韓国語)によりアーカイブのコンテンツを充実させ、A|S|I|Aを用いた教育プログラムの準備を開始した。

また、研究成果の国際的発信を行うと同時に、研究者や演劇関係者の国際的なネットワーキング形成に努め、アジアにおけるインターカルチュラルなシェイクスピア上演研究と教育のさらなる可能性を模索した。

研究成果の概要(英文)：In 2007 we started creating a web archive of Asian Shakespeare productions, A|S|I|A (Asian Shakespeare Intercultural Archive), to promote comparative theatre studies in the age of digitalization. Since then we have not only improved the usability of web archive by revising detailed data of productions and adding Korean to the multi-language website but also started the course design of comparative theatre studies, which incorporates this archive as its key feature.

In addition, we have reported issues surrounding digitized Shakespeare productions at international conferences and fostered an international research network among scholars and practitioners to further develop the field of Asian Shakespeare intercultural performance studies and education.

研究分野：人文学

キーワード：シェイクスピア アジア 上演研究 デジタルアーカイブ 国際共同研究

1. 研究開始当初の背景

シェイクスピア上演研究においても、デジタル化時代にふさわしい新たな研究の可能性が欧米を中心に模索されてきたが、本研究の先行研究「アジアにおけるシェイクスピア上演アーカイブの構築」(基盤研究(C)2007-2009 課題番号19520291)は、アジアにおけるインターカルチュラルなシェイクスピア上演研究の核となることをめざして、アジアで初めてのシェイクスピア上演ウェブ・アーカイブ A|S|I|A(Asian Shakespeare Intercultural Archive)を構築した。

既存のアカデミックなシェイクスピア上演ウェブ・アーカイブの多くは、写真や上演記録を中心としており、映像が収蔵されている場合も、上演の部分的な映像や字幕付きでない映像のみである。一方、商業的なウェブ・アーカイブでは、上演全編の映像を視聴できるが高額な利用料を必要とする。A|S|I|Aは構築当初からアジア諸国のシェイクスピア上演作品の映像全編を収め、それらに3ヶ国語(英語、日本語、中国語)の字幕を付けて無料で提供してきた。また、収蔵上演作品の詳細な分析データを検索して利用できる極めてユニークな上演ウェブ・アーカイブであった。

継続研究「アジアにおけるシェイクスピア上演ウェブ・アーカイブの充実と活用」(基盤研究(C)2010-2012 課題番号90216276)では、ウェブ・アーカイブ A|S|I|Aのコンテンツをさらに充実させた。続く本研究は、ウェブ・アーカイブコンテンツと機能の見直しと、上演研究・教育へのさらなる貢献の必要性から開始された。

2. 研究の目的

本研究は、利用者のフィードバックを参考にウェブ・アーカイブ A|S|I|Aのコンテンツと機能を改善することを主な目的としている。より利用しやすいウェブ・アーカイブの提供により、日本とアジア諸国、アジア諸国と世界のシェイクスピア上演の比較研究及び教育の発展に貢献すること、また、インターカルチュラルな比較演劇研究に不可欠な演劇研究者の国際的なネットワークを強化することもめざした。

3. 研究の方法

(1) 国際共同プロジェクトチームによる作業

アジア諸国のシェイクスピア上演を多数収蔵するウェブ・アーカイブの見直しを一国の研究者のみで実行することは困難であるため、アジア演劇プロジェクトを遂行中の以下の機関と協力し、国際共同プロジェクトとして海外の研究協力者と共に作業を進めることとした。

- ・ シンガポール国立大学(シンガポール)
- ・ 順天郷大学校(大韓民国)

(2) アーカイブコンテンツと機能の充実

日本、台湾、中国、韓国、シンガポール等の東南アジアにおけるシェイクスピア上演の作品映像資料とその著作権の獲得、プログラム等の上演に関する資料収集、各上演の詳細な分析データ作成、コンテンツのデジタル化と古いデータの見直しを継続して行った。特に機能面では、利用者のフィードバックを参考に、上演作品データのサーチ機能等のインターフェイス改善方法を模索した。

(3) 研究集会の開催と研究成果の国際的発信

国際共同プロジェクトチームによる定期的な研究集会を開催し、アーカイブコンテンツの充実とその活用方法等について検討した。また、国内外の学会で、A|S|I|Aを利用した上演研究・教育の意義や問題点、活用事例等について報告した。

4. 研究成果

(1) アーカイブコンテンツと機能の充実

ウェブ・アーカイブ A|S|I|Aは、主に、シェイクスピア上演作品映像資料と上演作品の詳細な分析データ(メタデータ)から構成されている。

2016年3月までに、日本、台湾、中国、シンガポール、韓国、マレーシアの劇団より計51作品の上演映像及び著作権を取得しウェブ上で公開した。また、本研究期間中の特筆すべき成果は、新たに韓国語を加えて、上演分析データと字幕を含めたアーカイブ上の使用言語を3ヶ国語から4ヶ国語に増やしたことである。さらに技術面でも、動画をFlash形式からHTML形式に変更し、より汎用性を高めた。

現在ウェブ・アーカイブ A|S|I|Aで公開している主な上演作品は以下の通りである。

[日本]

- 『夏の夜の夢』、SPAC、宮城聡演出、(2011年)
- 『シンベリン』、子供のためのシェイクスピアカンパニー、山崎清介演出、(2008年)
- 『ハムレット』、リゅーとぴあ能楽堂シェイクスピア、栗田芳宏演出、(2007年)
- 『国盗人』、世田谷パブリック・シアター、野村萬斎演出、(2007年)
- 『真夏の夜の夢』、劇団昴、三輪えりか演出、(2006年)

[韓国]

- 『ハムレット』、劇団ヨハンザ、ヤン・ジュンウン演出、(2009年)
- 『麻浦の黄富者』、劇団ミチュウ、ソン・ジ

ンチェック演出、(2005年)
『ロミオとジュリエット』、劇団木花、オ・テソク演出、(2005年)

[中国]

『大將軍コー・リウラン(寇流蘭)』、北京人民芸術劇院、リン・ツァオファ(林兆華)演出、(2007年)
『欲望の王国』、当代伝奇劇場、ウー・シンクォ(呉興国)演出、(1986-2010年)

[シンガポール]

『リア・ドリーミング』、シアターワークス、オン・ケンセン(王景生)演出、(2012年)
『サーチ:ハムレット』、シアターワークス、オン・ケンセン(王景生)演出、(2002年)

[マレーシア]

『マヨン ティティス・サクティ 魔法のしずく』、アクターズスタジオ、Norzizi Zulkifli 演出、(2009年)

(2) 世界の教育機関によるウェブ・アーカイブの利用

A|S|I|A ログイン登録からの調査結果によると、2016年3月までにA|S|I|Aを利用した高等教育機関は世界で50に及んでいる。主な利用大学は以下の通りである。

[北米・カナダ]

ニューヨーク大、ペンシルバニア大、トロント大、シカゴ大、インディアナ大、マイアミ大、スタンフォード大、UCLA ほか

[英国]

ウォーリック大、ヨーク大、バーミンガム大、グラスゴー大、ノーサンプトン大、SOAS、ロンドン大ほか

[日本]

筑波大、東京女子大、群馬大、名古屋市立大ほか

利用機関数、アクセス数、授業での利用に際しての質問やコメントは年々増加しており、高等教育機関の授業に組み込んだ形でウェブ・アーカイブを利用する状況は整いつつあると考えられる。

これらの高等教育機関のA|S|I|A利用者からの質問やコメント等のフィードバックの分析を行い、ウェブ・アーカイブのコンテンツと機能の改善につなげると同時に、試行として、2015年10月に、海外共同研究者(研究協力者)の所属するシンガポール国立大学(シンガポール)と順天郷大学校(大韓民国)でA|S|I|Aを利用したオンライン同時遠隔授業を実施した。

(3) 研究成果の国際的発信と国際的なネッ

トワーキング

国際研究集会等の開催

科研プロジェクトチーム(群馬大学、名古屋市立大学)、シンガポール国立大学プロジェクトチーム、順天郷大学校(大韓民国)チームは、以下の通り定期的に共同で打ち合わせや研究集会を実施し、アーカイブコンテンツの充実と活用方法を検討した。また、比較上演研究に関する情報交換も行った。

- ・ 2013年11月 ソウルで、研究代表者、研究分担者、海外共同研究者により、ウェブ・アーカイブの使用言語に新たに韓国語加えるための準備作業打ち合わせを行った。
- ・ 2014年6月 台北で、コンテンツと機能の充実、特にデータ見直し作業計画について、研究代表者、研究分担者、海外共同研究者による打ち合わせを行った。
- ・ 2015年2月 シンガポールにおいて、研究代表者、海外共同研究者によるコンテンツと機能の充実を目的とした打ち合わせ及びアジアの複数の演劇ウェブデータベースに関する研究集会を実施した。
- ・ 2015年5月 ソウルで、研究代表者、研究分担者、海外共同研究者によるデータ見直し作業の進捗状況及び作業上の問題点の確認を行った。

研究成果の国際的発信とネットワーク

国内外の学会でA|S|I|Aのコンテンツと機能の見直し状況を報告するとともに、ウェブ・アーカイブを利用した上演研究の意義や問題点について意見交換を行った。(発表の詳細については、5.主な発表論文等の〔学会発表〕の項参照。)

(4) 成果の位置づけ

MITの*Global Shakespeares*、ケンブリッジ大学出版局の*Cambridge World Shakespeare Online*、国立台湾大学の*Taiwan Shakespeare Database*、Shakespeare's Globe 劇場による*Globe Player*等シェイクスピア上演に関するデジタルアーカイブの構築が進み、デジタルアーカイブに関する研究も活発化する中(例えばChristie Carson編*Shakespeare and the Digital World: Redefining Scholarship and Practice*ケンブリッジ大学出版、2014年)、ウェブ・アーカイブA|S|I|Aにも国内外の学会から高い関心が寄せられた。

シェイクスピア上演研究及び教育における

ウェブ・アーカイブ活用事例の報告要請により、韓国国際シェイクスピア学会 2013 (2013 年ソウル) 第 1 回アジアシェイクスピア学会 (2014 年台北) で研究報告を行った。今後も、第 10 回国際シェイクスピア学会 (2016 年ストラトフォード・アポン・エイヴオンとロンドン) で報告の機会を与えられるなど、A|S|I|A プロジェクトチームに、インターカルチュラルな比較上演研究・教育の分野での先駆的な成果の発信が期待されていると言える。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 1 件)

小林かおり, “The Actors Are Come Hither’: Shakespeare Productions by Travelling Companies in Asia”, *New Theatre Quarterly*, 査読有, Vol 32, Issue 01, 2016, 49-60

〔学会発表〕(計 7 件)

末松美知子, “A|S|I|A: Japanese Productions Data”, Asian Intercultural Digital Archives Metadata Workshop, シンガポール国立大学(シンガポール), 2015 年 2 月 16 日

小林かおり, “Shakespeare Wallah: Travelling Companies in India”, World Conference on English Studies, Amity University (デリー: インド), 2015 年 1 月 8 日

小林かおり, “Shakespeare Wallah: Travelling Companies in India”, 8th World Shakespeare Conference and International Seminar on Comparative Literature and Translation Studies, (コルカタ: インド), 2015 年 1 月 4 日

末松美知子, “From Bourn to Bourn’: Journeys of Ninagawa Shakespeare”, 第 1 回アジアシェイクスピア学会, 国立台湾大学(台北: 台湾), 2014 年 5 月 17 日

小林かおり, “The Actors Come Hither’: Shakespearean Productions by Travelling Companies in Asia”, 第 1 回アジアシェイクスピア学会, 国立台湾大学(台北: 台湾), 2014 年 5 月 17 日

末松美知子, “Verbal and Visual Representations in Modern Japanese Shakespearean Performances”, 韓国シェイクスピア学会 2013, ソウル大学(ソウル: 大韓民国), 2013 年 11 月 1 日

小林かおり, Nurul Farhana Low bt Abdul lah, “The Play’s the Thing’: Early 20th Century Shakespeare Productions by Travelling Companies in Asia” 韓国シェイクスピア学会 2013, ソウル大学(ソウル: 大韓民国), 2013

年 11 月 1 日

〔図書〕(計 3 件)

末松美知子, James Bulman, Alexa Huang ほか, *Oxford Handbook of Shakespeare and Performance* (Oxford University Press, 2016 年刊行予定)

末松美知子, 吉原ゆかり, 小林かおり, エグリントンみかほか, 『異文化理解とパフォーマンス—Border Crossers』(春風社, 2016 年, 印刷中)

末松美知子, Steven Liu, Yong Li Lan ほか, *Routledge Handbook of Theatre* (Routledge, 2015), 509-513

〔その他〕

ホームページ

ウェブ・アーカイブ A|S|I|A (Asian Shakespeare Intercultural Archive)

公開 URL: <http://www.a-s-i-a-web.org/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

末松 美知子 (SUEMATSU Michiko)

群馬大学・社会情報学部・教授

研究者番号: 90216276

(2) 研究分担者

小林 かおり (KOBAYASHI Kaori)

名古屋市立大学・大学院人間文化研究科・教授

研究者番号: 40308820

(3) 研究協力者

ヨン・リーラン (YONG Li Lan)

シンガポール国立大学(シンガポール)・文学部・准教授

リー・ヒョンウー (LEE Hyon-u)

順天郷大学校(大韓民国)・文学部・教授